

本追加書類は、次のタイプのマルチターン型ギア減速機用取扱説明書の補足です。

ベベルギア減速機 GK 10.2 ~ GK 40.2、AUMA 製品番号 Y000.328.



**危険**

### 吊り荷に注意!

#### 死亡または重傷

- 吊り荷の下に立入らないでください。
- 巻き上げ装置は、ギア減速機のハウジングに取り付け、ハンドホイール、アクチュエーター、またはコントローラには取り付けないでください。
- リングナットとスレッドバーがハウジングにしっかりと取り付けられていることを点検してください。
- 吊り上げ用ベルトとラウンドスリングで固定する際はメーカーの指示に注意してください。
- 構成の総重量にご注意ください(ギア減速機、アクチュエータ、コントローラ)。
- リングボルト、スレッドバーおよびリングナットは、各寸法の表示された構成でのみ使用可能です。
- 荷重を落下、スリップ、転倒しないように固定してください。

## GK 10.2 ~ GK 16.2

寸法 16.2 までは、ギア減速機はアクチュエータ取り付け済みで駆動型式 A および AF で出荷されます。吊り上げは、常にギア減速機のアタッチメントフランジとアクチュエータのハウジングに巻き付けられた吊り上げ用ベルト/ラウンドスリングで行います。

図1: 例 GK 10.2 水平吊り上げ



## GK 25.2

寸法 25.2 は、アクチュエータとリングボルトが取り付けられた状態で出荷されます。顧客による指定がない限り、駆動型式 A および AF がギア減速機に取り付けられます。吊り上げは常にリングボルトで行います。

図2: 例 GK 25.2 水平吊り上げ



**GK 30.2**

ギア減速機 GK 30.2 用アクチュエータは出荷時、ばらの状態となっており、別途輸送し、持ち上げる必要があります。顧客による指定がない限り、駆動型式 A および AF がギア減速機に取り付けられます。寸法 30.2 は、スレッドバーおよびリングナットがねじ込まれた状態で出荷されます。吊り上げは、リングナットを用いて水平にまたは吊り上げ用ベルト/ラウンドスリングを用いて垂直に行います。

図3:例 GK 30.2 水平吊り上げ



図4:例 GK 30.2 垂直吊り上げ

**GK 35.2 ~ GK 40.2**

ギア減速機 GK 35.2 ~ GK 40.2 用アクチュエータおよび駆動型式 A および AF は出荷時、ばらの状態となっており、別途輸送し、持ち上げる必要があります。寸法 35.2~40.2 は、スレッドバーおよびリングナットがねじ込まれた状態で出荷されます。吊り上げは、リングナットを用いて水平にまたは吊り上げ用ベルト/ラウンドスリングを用いて垂直に行います。

図5:例 GK 40.2 水平吊り上げ



図6:例 GK 40.2 垂直吊り上げ



## 運搬

表1:

出力ソケット(穴無し)および充填されたグリースを含むギア減速機の重量	
型式	重量 [kg]
GK 10.2	8.5
GK 14.2	15
GK 14.6	15
GK 16.2	31
GK 25.2	60
GK 30.2	110
GK 35.2	190
GK 40.2	250

表2:

重量 接続形式 A 10.2 ~ A 40.2		
型式	フランジの寸法	重量 [kg]
A 10.2	F10	2.8
A 14.2	F14	6.8
A 16.2	F16	11.7
A 25.2	F25.2	42
A 30.2	F30.2	69
A 35.2	F35.2	126
A 40.2	F40.2	202

表3:

重量 接続形式 AF 10.2 ~ AF 40.2		
型式	フランジの寸法	重量 [kg]
AF 10.2	F10	5.5
AF 14.2	F14	13.7
AF 16.2	F16	23
AF 25.2	F25.2	61
AF 30.2	F30.2	103
AF 35.2	F35.2	180
AF 40.2	F40.2	320

アクチュエータおよびコントローラの重量は、各取扱説明書を参照してください。